

平成26年度予算の概要

平成26年度予算は、限られた財源を有効に配分し、事業の選択と集中、重点化を進め、まちづくりの指針である『総合計画・後期基本計画』に示す7つの政策に基づき、みなさまの暮らしの安全と安心を確保しながら、活力あふれるまちを目指す「健全な財政を基軸とした安心と成長を実現する予算」としています。

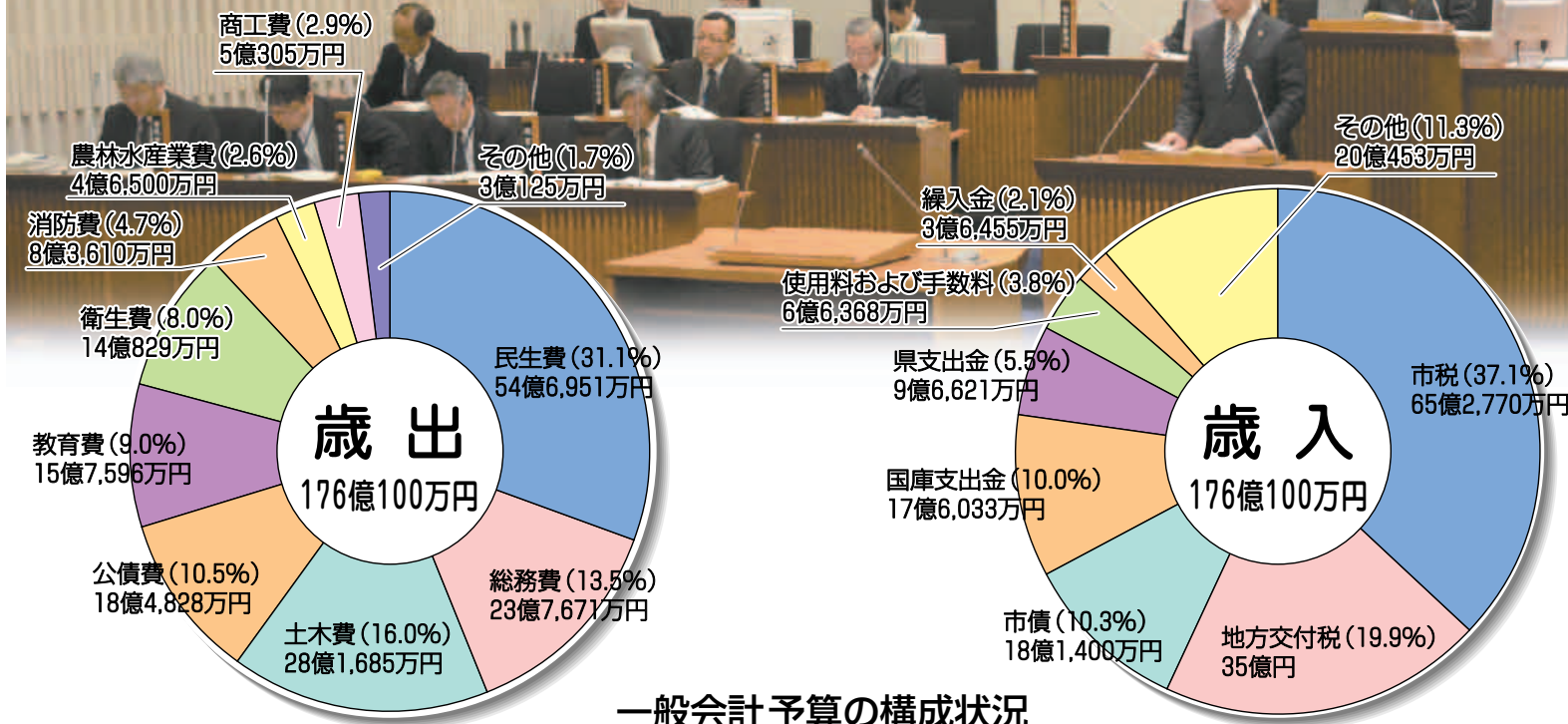
【会計別予算と前年度との比較】

会計	平成26年度	対前年度増減額(率)
一般会計	176億100万円	△15億9,300万円(△8.30%)
国民健康保険	39億1,212万円	1億812万円(2.84%)
後期高齢者医療	4億2,380万円	2,630万円(6.62%)
介護保険保険事業	33億4,703万円	1億8,129万円(5.73%)
介護保険サービス事業	4億4,952万円	△361万円(△0.80%)
計	81億3,248万円	3億1,211万円(3.99%)
病院事業	26億4,544万円	△7,919万円(△2.91%)
水道事業	16億2,543万円	△5,955万円(△3.53%)
下水道事業	34億6,557万円	4億3,545万円(14.37%)
計	77億3,645万円	2億9,671万円(3.99%)
合計	334億6,994万円	△9億8,417万円(△2.86%)

※表内の額は表示単位未満切り捨てです。

人口の流入と定住化を進め、支えあいと活力のある社会を目指して

平成26年度のまちづくりと予算



一般会計予算の構成状況

これまで全力で進めてきた行財政改革の効果額が8億円に達し、加東市は、今や北播磨管内で最も財政健全化が進んだまちとなりました。培ってきた財政基盤をより着実なものとしながら、「住んでよかった、これからも住み続けたいと実感できる、輝く加東の実現」に向けたステップアップに取り組む平成26年度。まちとくらしのさらなる躍進を目指す主要事業と予算概要を、市民のみなさまにお伝えします。



キャラクターフェスティバル in かつこの開催 550万円

①「文化」
未来を拓く人を育む 文化のまち
☆学校施設等の整備 6,126万円
○工事：米田小・三草小・鴨川小・東条西小の体育館天井照明耐震化工事など
○設計：社小・滝野南小のトイレ洋式化、鴨川小校舎他の屋根改修・天井耐震化など
☆夕日ヶ丘公園パークゴルフ場の施設整備 880万円
☆文化財の保護・啓蒙対策 188万円
「加東市の仏像展(仮称)」を開催 楽しみのある学校給食特別メニューの実施 188万円

②「安全」
人と自然が調和した 安全なまち
☆滝野地域への告知放送設備整備事業 5,400万円
☆通学路の安全対策 4,237万円
通学路を中心に、防犯灯・防犯カメラを整備します。また、市内公立

③「安心」
健やかで心がふれあう やさしいまち
☆おたふくかせ予防事業 1,002万円
県下で初めて、おたふくかせ予防接種費用を助成します。(10ページ参照)
☆水痘予防事業 790万円
県下で初めて、水痘の予防接種費用を助成します。(10ページ参照)
☆新型インフルエンザおよび風しんの予防接種費用一部助成 746万円 (5ページに関連記事)
私立保育所施設整備事業 8,812万円
高岡育児園の施設整備(建て替え)を補助します。

④「活力」
魅力ある資源を活かした誇りのもてるまち
☆工場等の操業継続支援助成金制度 2,500万円
市の経済発展に欠かせない市内立地工場等の支援と企業誘致促進のため、上水道使用料の一部を助成する制度を創設して、経済の活性化を進めます。
☆南山地区用地取得事業 1億5,294万円
ひょうご東条ニュータウンインタパーク7番画地(道の駅とうじょう南側)を取得します。

⑤「快適」
暮らしと憩いが響きあふ心地よいまち
☆自主放送設備整備事業 2,069万円
自主放送のハイビジョン化を実施します。
☆特別指定区域制度活用事業 461万円
県の特別指定区域制度を活用して、人口減少対策および地域活性化に取り組みます。
滝野梶原線の整備 5億7,037万円
大門北野線の歩行帯安全施設整備 2,620万円

⑥「協働」
多様なきずなが織りなす 協働のまち
☆南山さくらの名所の整備 600万円
小中学校人権教育講演会の開催 214万円

⑦「実現に向けて」
まちづくりの目標を支える
自主自律の行政経営
ドライブレコーダーの設置および庁用車の更新 592万円
庁用車にドライブレコーダーを設置します。また、庁用車5台を低燃費・低公害車に更新します。

『輝く加東を実現する7つの政策』と主な事業
新規事業を中心に、平成26年度事業の一部をご紹介します。
☆は新規事業です。